

一般財団法人

# 鹿児島陸上競技協会通信 『恒星』

2020.5.7

TEL 099-259-6053/FAX 099-299-6054 HP: http://www3.synapse.ne.jp/karikupage

## 天皇盃・皇后盃 全国都道府県対抗駅伝競走大会

### 女子健闘 5年ぶり5位入賞

～第33回大会の県記録を47秒更新！県民に喜び～

皇后盃第38回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会は、1月12日、京都市の西京極陸上競技場を発着とする9区間、42.195kmのコースで開催されました。

令和初となる本大会は、12時30分に全国の各県から出場した47チームが一斉にスタートしました。大会で活躍した神奈川県学園高校勢を中心に高校生主体の若いメンバーでレースに臨みまし。

1区はデクンソン所属の社会人倉岡奈々(デンソー)が豪が2区は区中若黒川円佳(神村学園高)が村学園の2年3区は木之下沙椰(神村学園高)の健闘し、5区は木居華華(神村学園高)の6区は順位の1年久保心優(神村学園高)の7区は順位の3位まで上川千裕(東谷山中)の8区は初めの西田美咲(エディオン)の5位入賞も記録も同じく5位に入った第33回大会の鹿児島県記録を47秒短縮・更新するもので、秋の選手及びスタッフ並びに所属チームの指導者の皆さんの労をねぎらい、感謝を申し上げます。

優勝は京都府チームの2時間16分15秒で、3年ぶり17回目の本県チームの各選手の間記録や順位等は次のとおりです。

1区(6km) 倉岡 奈々 (デンソー) (19) 19'42"

2区(4km) 黒西 穂乃香 (神村学園高) (7) 12'47"

3区(3km) 木之下 沙椰 (神村学園高) (8) 9'47"

4区(4km) 木居 華華 (神村学園高) (6) 13'16"

5区(4.1075km) 鳥居 瑠菜 (神村学園高) (3) 13'12"

6区(4.0875km) 久保 心優 (神村学園高) (4) 13'02"

7区(4km) 中川 千裕 (東谷山中) (7) 12'41"

8区(3km) 西田 美咲 (エディオン) (8) 10'17"

9区(10km) 西田 美咲 (エディオン) (8) 32'20"

### 男子21位 前回の入賞記録を54秒短縮

天皇盃第25回都道府県対抗男子駅伝競走大会は、1月19日に広島市で行われ、7区間48.0kmのコースで争われました。24回大会6位、前の週的女子チームの5位入賞を受賞してレースに臨みましたが、結果は2年連続の入賞ならず、21位に終わりましたが、タイムは前回大会の2時間21分22秒を54秒短縮する2時間20分28秒の健闘でした。

1区は鹿児島実業高校2年の徳丸寛太が期待を担って出走。全国的に高速度が進む中で、各県の高レベルのチームが集う1区、予想にたがわず、ハイペース展開となったが、徳丸は粘り強い走り、区間21位の玉目からトップ順位の3区は大会最年長36歳で京セラ中村陸高洋。前回の区間タイムを3秒短縮する好走で区間10位で走破しました。4区は南高の山内健登は区間8位の走り、10位に上げ、残り3区間に2年連続の入賞を託しましたが、徐々に失速し、21位の結果となりました。

区間新タイが4つ出た中で、1区の鹿児島実業高校の徳丸寛太とする区間新記録をマークする4区は、南高の山内健登も本県の区間新記録を選手及びスタッフ並びに所属チームの指導者の労をねぎらい、優勝を飾りました。2時間17分11秒で3年ぶり8度目の優勝を飾りました。

各選手の区間記録や順位等は下記のとおりです。

1区(7km) 徳丸 寛太 (鹿児島実業高) (21) 20'09"

2区(3km) 玉村 陸 (出水中) (24) 8'46"

3区(8.5km) 中山 高健登 (樟南高) (8) 24'05"

4区(5km) 山内 健登 (樟南高) (8) 14'19"

5区(8.5km) 神蘭 竜馬 (鹿児島実業高) (27) 25'13"

6区(3km) 清田 悠里 (旭化成) (27) 9'01"

7区(13km) 藤原 孝 (旭化成) (34) 38'55"

## いざ「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」本番まで残り150日 正念場の5カ月 成功を期す

2020年がスタートして早4か月が経過し、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」開催の年度が始まりました。大会本番まで残り150日。もう、待ったなしです。

### 新型コロナウイルス拡大 緊急事態宣言で記録会等中止

鹿児島国体事務局のシーズンを迎えたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、日本陸連が4月初旬から6月末までの記録会や競技会の中止・延期する旨の文書を出した。このため、国体に向けた審判技術者の募集も中断、停滞しています。出鼻を挫かれ、じれったさやもどかしさを感じていますが、その間も時計の針は無情にも進むことなく進んでいます。

昨年秋の九州高校新人陸上競技大会をリハーサル大会として行い、一定の成果と課題等を把握することができました。1年前の中間テストとすると一応の及第点であり、評価しますが、まだまだこれから一層精度を高めたいと努める必要があります。

特に、競技役員として協力いただける方を確保し、来夏のJAAF競技規則改正講習会などで希望者を募集し、3日間のうち欠席された方もおられますが、本番に向けては行事が行われるシーズンで理解をいただき、向けて結果の理解や協力をい

た。ただ、現実には、講習会での希望者数に届かず、本番に必要となる状況です。踏まえ、11月に再度競技役員として協力いただけるか意向調査をしましたが、相当数の方々の無回答があり、啓蒙の不十分さを痛感しています。

国体の競技運営は行政機関(県・市)からの委託業務。通常の競技会は一スポーツ団体である本協会の事業ですが、国体は全国障害者スポーツ大会は国や県、鹿児島市等が行政が主催・共催となる事業で、鹿児島陸協は業務委託を受けて運営する大会です。そのために、競技役員業務委託にもそれなりの自覚と責任が伴います。

### 現在 最終の意向・確認調査を実施中 競技運営の御協力くださる方は確実に回答を!

国体の陸上競技会運営に協力して下さる方々を確実に把握するために、2月から3月にかけて各地区で行いました2020年JAAF競技規則改正講習会の受講及び審判員登録の状況を踏まえ、国体の競技役員を編成しています。そのうえで、現在競技役員として協力する希望があるかどうかの意向及び確認調査を実施していますので、ぜひ御理解御協力を賜りますようお願いいたします。

### 国体陸上競技会の競技役員は7月中に依頼・委嘱

競技役員依頼・委嘱の今後のスケジュールは、本協会からの推薦を経て、鹿児島市実行委員会名簿を提出し、実行委員会では6月に実行委員長名簿の依頼状及び日本文字協会会長名簿の委嘱状を作成し、7月中に各競技役員あてに依頼状・委嘱状が送付されます。

### 競技役員最終確定後の断りは控えてください

前述のような取組や段取りを経て、依頼・委嘱をします。理由によらず断りは厳に控えていただくようお願いいたします。通常の競技役員は厳に控えていただくようお願いいたします。通常の競技役員は厳に控えていただくようお願いいたします。

### 国体・障害者大会 全日程出席の態勢・覚悟で!

国体陸上競技会は10月9日(金)から13日(火)までの5日間、全国障害者スポーツ大会は10月24日(土)から26日(月)まで3日間開催します。

競技役員として業務をしていただく皆さまには、両大会共全日程の出席をお願いしますが、国体については4日を基本として少なくとも3日以上、障害者大会は3日全日程を基本として2日以上業務遂行をお願いいたします。

特に、離島や遠隔地で宿泊該当者は、国体4日以上、障害者大会は全日程の3日としますので、御理解のうえ競技会運営への協力を希望していただきます。

### 48年ぶりの国体 成功で人生の思い出に!

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」は1972年(昭和47年)以来48年ぶりの鹿児島開催です。この縁を喜びとし、皆さんと共に大会成功を期して頑張ってください。

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」は1972年(昭和47年)以来48年ぶりの鹿児島開催です。この縁を喜びとし、皆さんと共に大会成功を期して頑張ってください。

### 第33回県対抗地区対抗女子駅伝競走大会

## 始良 3年連続13回目の優勝

1月26日に霧島市隼人・国分路をコースとして、第33回県地区対抗女子駅伝競走大会が、6区間21.097kmで行われました。

前回大会を厚い選手層で連覇を果たした始良チームの優勢が予想されていましたが、思わぬ苦戦を強いられ、最終区で逆転での勝利を飾りました。

2位には9秒差で鹿児島チーム、3位は肝属チームが入りました。

Bクラス優勝は総合5位の日置チーム。Cクラス優勝は長年下位に低迷し、前回の11位から総合7位に躍進した川辺チームが獲得しました。

躍進賞は前回の記録を3分21秒短縮した川薩チームに輝きました。各チームの順位や記録は次のとおりです。

優勝	始良	1. 10' 03"	
2位	鹿児島	1. 10' 12"	
3位	肝属	1. 11' 32"	
4位	川薩	1. 11' 51"	
5位	日置	1. 12' 32"	(Bクラス優勝、躍進3位)
6位	出水	1. 13' 28"	(躍進2位)
7位	川辺	1. 15' 37"	(Cクラス優勝、躍進1位)
8位	大島	1. 16' 41"	
9位	伊佐	1. 17' 33"	
10位	熊毛	1. 18' 35"	
11位	宿於	1. 19' 05"	
12位	曾於	1. 21' 17"	

### 第67回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

## 始良 3年連続25回目の栄冠!

### 高速レース 躍進賞 伊佐 1時間10分50秒短縮

令和の時代になって初の大会となる、鹿児島に春の訪れ告げる恒例の第67回県下一周市郡対抗駅伝競走大会は、2月15日から19日まで5日間にわたって、53区間584.1kmで熱い戦いが繰り広げられました。

総合優勝は、5日間のうち2日間を制し、厚い選手層を擁した始良チーム。3年連続の25回目の勝利を飾りました。始良地区は県地区対抗女子駅伝競走大会の優勝と合わせ、3年連続の男女アベック優勝となりました。

2位は3年連続で鹿児島チーム。日間優勝はなく、トップとは3分27秒の差で、最後まで熱戦を展開しました。3位は第1日目を最終区逆転で制し、最終日も日間優勝を果たした日置チーム。日置の初日の勝利は、太陽国体が開催された昭和47年以降の48年ぶりであり、その年は総合優勝も果たしており、期待を膨らませる出だしでした。しかし、4日目の中盤にブレーキが相次いで失速。総合優勝は次回大会にお預けとなりました。

第67回大会の特色は大幅な躍進タイム。躍進1位の伊佐チームの短縮時間は1時間10分50秒、2位の熊毛も前回のタイムを58分46秒と大きく縮めました。例年Cクラスの下位に低迷し、チーム編成に苦心する両チームの1時間前後の短縮は特筆すべき成果であり、今後への期待が高まっています。68回大会に繋がることを楽しみにしています。また、4日目の郷土入りで2年ぶりに優勝を飾った肝属チームの健闘もアツパレでした。日間優勝のチームが日替わりで現れることはレベルの向上を示すとともに、地域にも元氣や喜びを与え、活力の素となるに違いないと思います。

今大会は競技運営上のトラブルもなく終えることができました。各中継所で任務にあたっていただきました競技役員の方をはじめ、選手の誘導や交通整理等で御尽力いただきました警察や各市町のスポーツ推進委員、交通安全協会、地域の女性団体の関係の方々から感謝とねぎらいのことばを申し上げます。

各チームの順位と記録は次のとおりです。

優勝	始良	30' 58' 17"	
2位	鹿児島	31' 01' 44"	
3位	日置	31' 02' 04"	(躍進3位)
4位	川薩	31' 21' 24"	
5位	肝属	31' 23' 31"	(Bクラス優勝)
6位	川辺	31' 25' 06"	
7位	出水	31' 34' 50"	
8位	曾於	31' 50' 20"	
9位	指宿	32' 02' 12"	(Cクラス優勝)
10位	大島	32' 26' 21"	
11位	伊佐	32' 33' 51"	(躍進1位)
12位	熊毛	32' 42' 01"	(躍進2位)

### 一山麻緒 出水中央高卒 ワコール所属 東京五輪マラソン内定

出水中央高校を卒業し、京都のワコールに所属している一山麻緒が、3月8日に愛知で行われた名古屋ウィメンズマラソン2020において、歴代4位となる2時間20分29秒の好記録で優勝し、開催が来年に延期された東京オリンピックの女子マラソンの出場が内定しました。

一山は昨年9月のグランドマラソンチャンピオンシップ(MGC)のファイナリストになり大会に臨み、積極的なレースを展開しましたが、結果を残すことができませんでした。最後の望みを託し、満を持して出場した名古屋の大会で国内最高タイムで東京オリンピックへの出場権を獲得した。伸び盛りにあり、伸び代も秘めており、オリンピックでのメダル獲得に期待が高まります。ファイト! 一山麻緒!

### 男子10km 中村高洋(京セラ)大会新V

#### 第57回南日本長距離走大会 1月5日開催

新春恒例の第57回南日本長距離走大会は、1月5日に白波スタジアムで行われ、一般男子10kmは京セラ鹿児島の中村高洋が従来のタイムを35秒更新する大会新記録で連覇を遂げました。

【男子】

中学1年2000m	塚田 虎翼(中種子中)	6'04"22
中学2・3年3000m	斎藤 莉樹(伊集院中)	9'10"41
高校5000m	野村 昭夢(鹿児島城西高)	14'55"37
高校10000m	和田 涉夢(鹿児島実業高)	30'48"27
一般10km	中村 高洋(京セラ鹿児島)	29'00"(大会新)

【女子】

中学1年2000m	石畑 茜寧(帖佐中)	6'51"42
中学2・3年3000m	弓指 菜穂(国分南中)	10'14"55
共通5000m	坂元 葵衣(鹿児島高)	17'50"63

### 県高校新人駅伝競走大会

#### 男子鹿児島城西高2年ぶり 女子神村高連覇

第26回県高校新人駅伝競走大会は、2月1日に南さつま市の吹上浜海浜公園とその周辺を周回するコースで行われました。

男子は6区間32.3kmにオープン参加を含め31チーム、女子は4区間13.8kmに27チームが出場しました。

男子は鹿児島実業高校と鹿児島城西高校が終始競り合い、最終区で逆転した鹿児島城西高校が大会新記録で2年ぶりの勝利。女子も大会新記録で神村学園高校が2年連続の優勝を飾りました。

男女3位までの結果は次のとおりです。

【男子】

優勝	鹿児島城西高	1' 36' 35"	(大会新)
2位	鹿児島実業高	1' 36' 43"	(大会新)
3位	樟南高	1' 48' 31"	

【女子】

優勝	神村学園高	42' 58"	(大会新)
2位	国分中央高	46' 32"	
3位	鹿児島女子高	47' 15"	

### 県中学校新人駅伝競走大会

#### 帖佐中 男女アベック優勝! 男子大会新・連覇

第31回県中学校新人駅伝競走大会は、2月1日に鹿児島市の桜島溶岩グラウンド周回コースにおいて、男子6区間19km、女子5区間12kmで争われました。

男子はオープン参加の5チームを含め48チームが出場し、帖佐中学校が大会新記録で2連覇を達成しました。女子もオープン参加の6チームを含め45チームが出場し、帖佐中学校が勝利し、男女アベック優勝を果たしました。

男女3位までの結果は次のとおりです。

【男子】

優勝	帖佐中	1' 03' 02"	(大会新)
2位	舞鶴中	1' 03' 20"	
3位	中種子中	1' 03' 26"	

【女子】

優勝	帖佐中	42' 31"	
2位	東谷山中	43' 23"	
3位	松元中	43' 29"	

### 新型コロナウイルス感染症拡大で事業開催苦心

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」開催の年を迎え、取組を加速しようと張り切っていた矢先に、中国で発生した新型コロナウイルス感染症が3月に入ってあっという間に全国、世界に拡大、蔓延して、東京オリンピックの延期をはじめ、本協会の記録会や競技会も中止や延期を余儀なくされています。たいへん厳しい状況下であります。皆さんの御理解御協力よろしくお願いいたします。